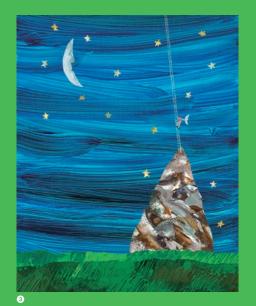
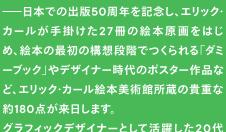
こどもの手に直接届ける、小さなアート。そこにこめたデザインの魔法











世界中で愛される絵本『はらぺこあおむし』



グラフィックデザイナーとして活躍した20代 30代を経て、こどもにも伝わる物語と絵、そし て印刷製本の新しい技術をとりいれたブック デザインに、エリック・カールは情熱を見出し ました。その色鮮やかな原画からは、確かな デザインの技術と、こどもへの愛情が伝わっ てきます。

- 「ゆっくりがいっぱい!」 2002年
 「ブレッツェルのはしまり」 1995年版(初版1972年)
 「バル、お月きまとって!」 1986年
 「いちはんのなかよしさん」 2013年
 「10このちいさなおもちゃのあびる!」 2005年
 「はらへこあおむし』 1987年版(初版1969年)
 作品はオヘエスリック・ルールによる絵本の最終原画、エリック・カール給入業等簡単



こどもはみんな個性的で、それぞれ違います。だから私は「こどもたち」という 言葉を使いたくありません。むしろ「こども、こども、こども」という言葉を使い <u>たいのです。私は一</u>人一人のこどものために本を書いていると思っています。 そして、そのこどもは私、私の中のこどもなのです。 ――エリック・カール

エリック・カール Eric Carle (1929-2021)

1929年アメリカにて生まれ、6歳から23歳までを両親の故郷であるドイツで過ごす。アメリカに 戻りグラフィックデザイナーとして活躍した後、1967年に『くまさん くまさん なにみてるの?』にイ ラストレーションで参加したことから絵本作家への道を歩きはじめる。2002年、アメリカ初の 絵本専門美術館「エリック・カール絵本美術館」開館。2021年91歳で亡くなる。



© The Eric Carle Museum of

2026年春、

東京都現代美術館(清澄白河・木場公園内)にて開催!



前売券などの情報は 展覧会公式サイトで随時公開します

[巡回予定] 2026年秋 福岡県立美術館 /2027年春 あべのハルカス美術館

	き通り 三ツ! ■	 計画的 大門通り 大門通り
新大橋通り	半蔵門線清澄白河駅B2番出口 Exit B2 "Kiyosumi-shirakawa Sta." Hanzomon Line	都営新宿線菊川駅A4番出口 Exit A4 "Kikukawa Sta." Shinjuku Line
清州橋通り	大江戸線清澄白河駅A3番出口 Exit A3 "Kiyosumi-shirakawa Sta." Dedo Line 深川資料館通り 「東京都現代美術館前」バス停 •	могу согоности
葛西橋通り	首都高「木場IC」出入口 ● 門前仲町駅	木場公園
永代通り	首都高「枝川IC」出口●	東西線木場駅3番出口